

企業内実習アンケート(学生用)

職種・形態	職種:施工 形態:週一定期型
実習先	赤鹿建設(書写県営住宅現場)
実習期間	4月12日～ 8月10日 合計 15日(45時間)
参加学性	8人

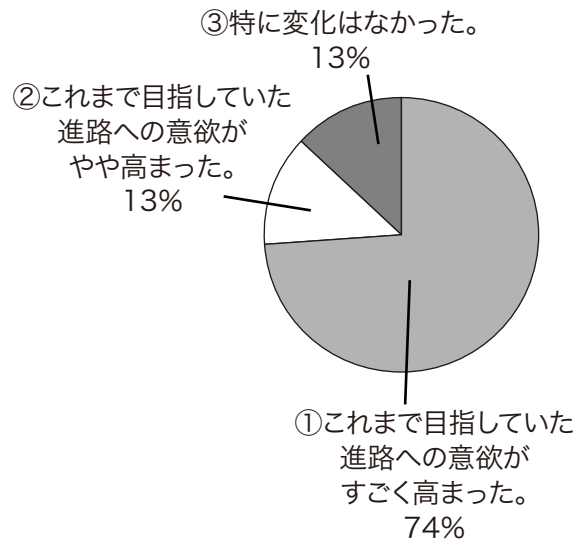
1 実習の成果

(1) 実習に参加して、得たことを上位から順に5点、箇条書きにしなさい。

- ①実際の現場の空気を体験できてよかった。
- ②一つ一つの作業を迅速に、また丁寧に進めいくことが、建物全体のクオリティが高くなることがよくわかった。
- ③現場での安全の大切さがよくわかった。
- ④職人さんとのコミュニケーションをしっかりとることで、現場の雰囲気がよくなり、仕事や事故・怪我の予防にも影響を及ぼすということがわかった。
- ⑤職人さんたちとの関係性や礼儀・マナーの大切さがわかった。
- ⑥一つの仕事に対するの責任感が大切であることがわかった。
- ⑦監督の実務の大変、重要さがわかった。
- ⑧職人さんたちの仕事は、全て簡単じゃなく、しんどい仕事もたくさんあると、わかった。
- ⑨各作業の連携の必要性がわかった。
- ⑩プロと学生の力の差が大きいことがわかった。
- ⑪品質管理を正確にすることで、品質がいいものができることがわかった。
- ⑫段取りを決めることによって、円滑に作業を進めることができる。
- ⑬型枠工や造作工など、授業で習った作業を実際にどうやってやるのかがよくわかった。
- ⑭コンクリートの打設や拾い出し、測量、クロス貼りを体験できてよかった。

(2) 実習に参加して、自分の進路への考え方はどう変わりましたか。

項目	人数	割合
①これまで目指していた進路への意欲がすごく高まった。	6	74%
②これまで目指していた進路への意欲がやや高まった。	1	13%
③特に変化はなかった。	1	13%
④目指していた進路に迷いが出てきた。	0	0%
⑤目指していた進路を考え直すきっかけになった。	0	0%



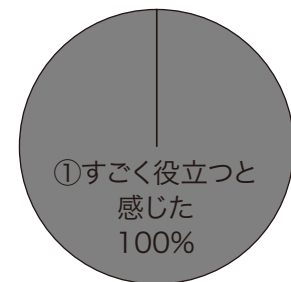
(3) 実際の現場で実習したことにより、これまでに学校で学んだことが、より理解できるようになりましたか。

項目	人数	割合
①学んだことを実際の現場で体験し、すごく理解できるようになった。	8	100%
②学んだことを実際の現場で体験し、少し理解が深まった。	0	0%
③学校で理解した程度とあまり変わりがなかった。	0	0%



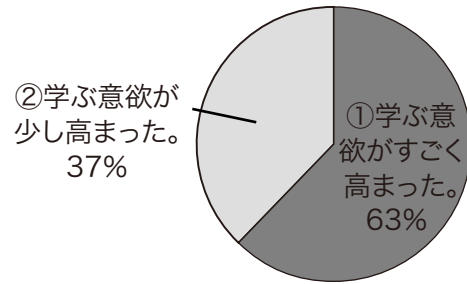
(4) 実際の現場での実習は、これからの学習に役立つと思いますか。

項目	人数	割合
①すごく役立つと感じた。	8	100%
②少し役立つと感じた。	0	0%
③役立つとは、あまり思わない。	0	0%



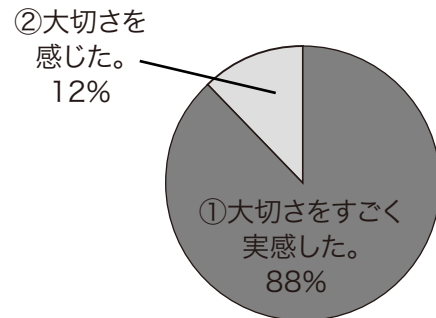
(5) 実習に参加したことにより、もっといろんなことを広く・深く学びたいという、意欲が高まりましたか。

項目	人数	割合
①今後の学ぶ意欲がすごく高まった。	5	63%
②今後の学ぶ意欲が少し高まった。	3	37%
③今後の学ぶ意欲はこれまでと変わらなかった。	0	0%



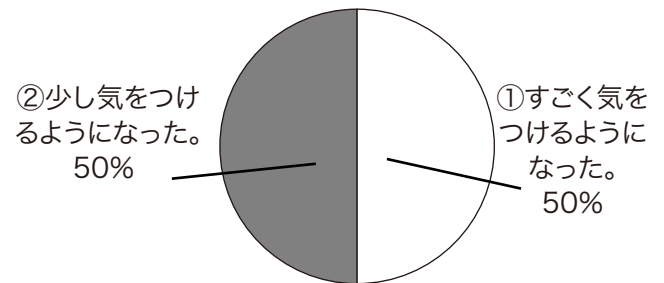
(6) 実習に参加したことにより、礼儀や挨拶・マナーなどの大切さを感じましたか。

項目	人数	割合
①大切さをすごく実感した。	7	88%
②大切さを感じた。	1	12%
③大切さは、あまり感じなかった。	0	0%



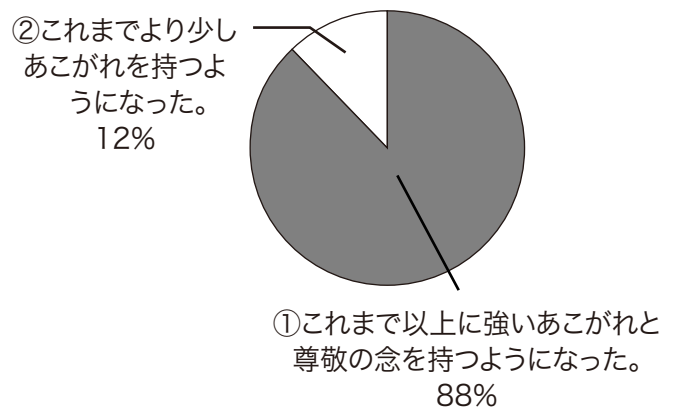
(7) 実習に参加をしたことにより、日常生活においても礼儀や挨拶・マナーなどに気をつけるようになりましたか。

項目	人数	割合
①すごく気をつけるようになった。	4	50%
②少し気をつけるようになった。	4	50%
③これまでとあまり変わらない。	0	0%



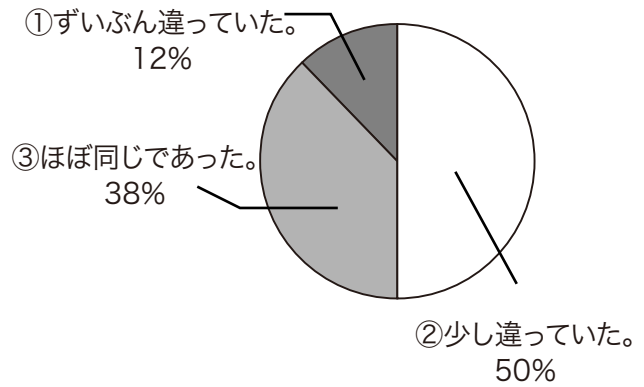
(8) 実習に参加したことにより、職業人(職人)の生き方に対する見方が変わりましたか。

項目	人数	割合
①これまで以上に強いあこがれと尊敬の念を持つようになった。	7	88%
②これまでより少しあこがれを持つようになった。	1	12%
③これまでの見方とあまり変わらなかった。	0	0%



(9) 事前に考えていた職場・現場のイメージと実際は違っていましたか。

項目	人数	割合
①ずいぶん違っていた。	1	12%
②少し違っていた。	4	50%
③ほぼ同じであった。	3	38%

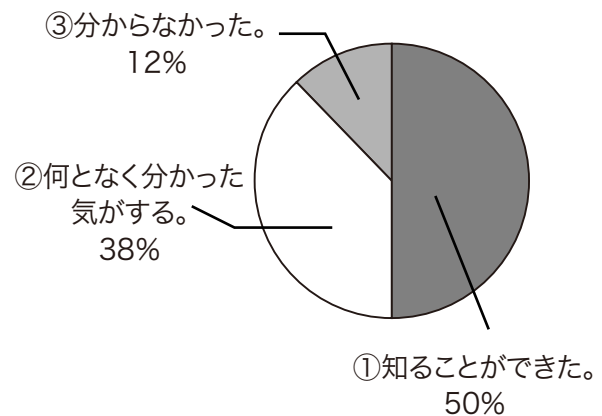


(10) 前の問い(9)で「①ずいぶん違っていた」、「②少し違っていた」と回答した方にお聞きします。どんな点が違っていましたか。箇条書きにしてください。

- ①現場がきれいだった。
- ②職人さんと監督さんが仲良かった。
- ③事務所が快適だった。
- ④コンクリート打設の日が、あんなにピリピリした雰囲気だとは思わなかった。
- ⑤思っていたより、現場監督の仕事は大変だと感じた。
- ⑥もっと厳しい雰囲気だと思っていたけど、みんな笑顔だった。

(11) 職業人(監督・職人)の仕事に対する考え方が分かりましたか。

項目	人数	割合
①知ることができた。	4	50%
②何となく分かった気がする。	3	38%
③分からなかった。	1	12%



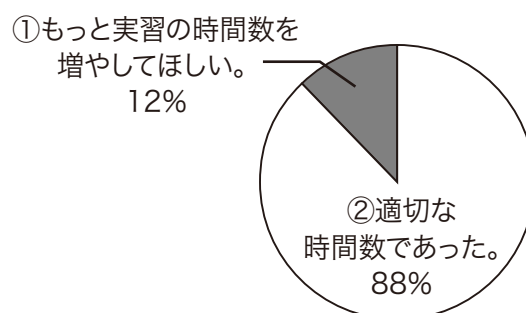
(12) 前の問い(11)で「①仕事に対する考え方を知ることができた」と回答した方にお聞きします。
それはどんな考え方ですか。箇条書きにしてください。

- ①購入された方に満足してもらえるようなものづくりするという考え方。
- ②自分の技術・行動が建物に反映される重要な職業であるという考え方。
- ③自分たちの仕事に責任を持ち、どんな作業も丁寧にするという考え方。
- ④安全に気をつけ、仕事を楽しむという考え方。
- ⑤よいものを創ろうとする考え方。

2 実習のあり方

(1) 実習の期間は適切でしたか。

項目	人数	割合
①もっと実習の時間数を増やしてほしい。	1	12%
②適切な時間数であった。	7	88%
③もう少し実習の時間を減らしてほしい。	0	0%



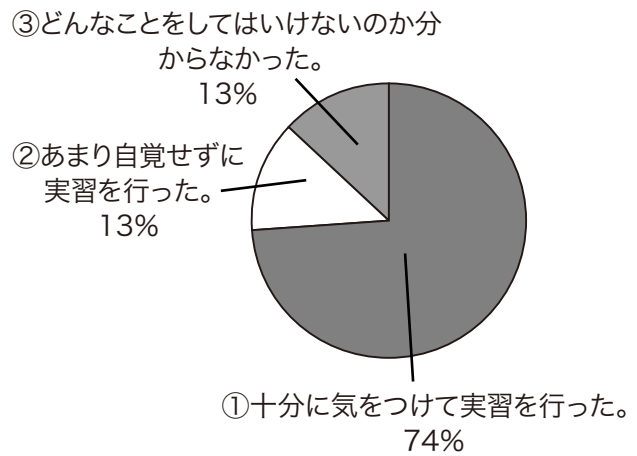
(2) 安全に気をつけて実習を行えましたか。

項目	人数	割合
①十分、安全に気をつけて実習できた。	8	100%
②気をつけたが、徹底することが難しかった。	0	0%
③何に気をつければよいか分からなかった。	0	0%



(4) 守秘義務があることを自覚し、実習が行えましたか。

項目	人数	割合
①十分に気をつけて実習を行った。	6	74%
②あまり自覚せずに実習を行った。	1	13%
③どんなことをしてはいけないのか分からなかった。	1	13%
④守秘義務を違反して、注意を受けた。	0	0%



アンケート結果(学生:前期・施工)

- (1) 実習に参加して、自分の進路への考え方はどう変わりましたか。という問いに対して、「意欲がすごく高まった。」74%、「意欲がやや高まった。」13%であった。
- (2) 実際の現場で実習したことにより、これまでに学校で学んだことが、より理解できるようになりましたか。という問いに対して参加者全員から「すごく理解できるようになった。」と回答が得られた。
- (3) 実際の現場での実習は、これからの学習に役立ちそうですか。という問いに対して、「すごく役立つと感じた。」が88%であった。
- (4) 実習に参加したことにより、もっといろんなことを広く・深く学びたいという、意欲が高まりましたか。という問いに対して、「今後の学ぶ意欲がすごく高まった。」63%、「今後の学ぶ意欲が少し高まった。」38%であった。
- (5) 実習に参加したことにより、礼儀や挨拶・マナーなどの大切さを感じましたか。という問いに対して、「すごく実感した。」87%、「大切さを感じた。」13%であった。
- (6) 実習に参加をしたことにより、日常生活においても礼儀や挨拶・マナーなどに気をつけるようになりましたか。という問いに対して、「すごく気をつけるようになった。」・「少し気をつけるようになった。」ともに、50%の回答であった。
- (7) 実習に参加したことにより、職業人(監督・職人)の生き方に対する見方が変わりましたか。という問いに対して、「これまで以上に強いあこがれと尊敬の念を持つようになった。」88%、「これまでより少しあこがれを持つようになった。」13%であった。
- (8) 職業人(監督・職人)の仕事に対する考え方が分かりましたか。という問いに対して、「知ることができた。」50%、「何となく分かった気がする。」38%であった。
- (9) 安全に気をつけて実習を行えましたか。という問いに対して、参加者全員から「十分、安全に気をつけて実習できた。」との回答が得られた。
- (10) 守秘義務があることを自覚し、実習が行えましたか。という問いに対して、「十分に気をつけて実習を行った。」75%、「あまり自覚せずに実習を行った。」13%であった。

【まとめ】

企業内実習を通して、学生自身が進むべき進路や学ぶ事に対して意欲が高まったという結果が得られた。また、礼儀・挨拶・マナーといった普段、学生にとっては気にしていない部分の大切さを学ぶきっかけとなっている。

このように、学校で学んだことがどのように活かされるのかを実体験の中で得られる企業内実習は、学生にとって有意義なものと考えられる。

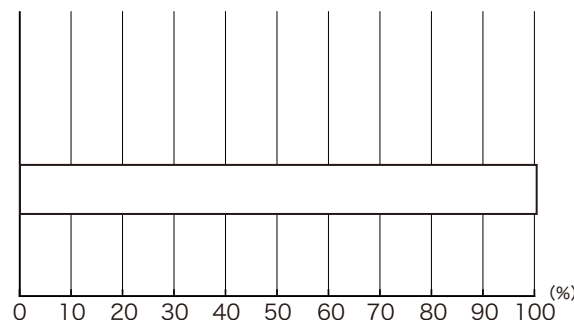
企業内実習アンケート(受入企業用)

職種・形態	職種:施工 形態:週一定期型
実習先	株式会社 ノバック
実習期間	平成29年10月5日～平成30年2月1日 合計15日間
参加学生数	日本工科大学校8名
実習人数	8名

1 事前の準備・打ち合わせ等について

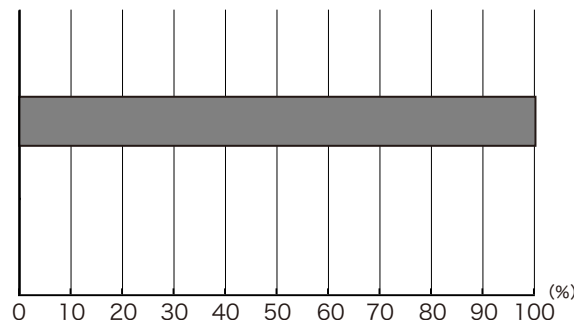
(1) 学校が事前に準備しておく必要があるものは、どんなものですか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①学生の自宅住所や連絡先を書いた名簿	0	0%
②学生の仕事や将来に関する考え方を書いた作文	1	100%
③その他、必要と思われるもの	0	0%



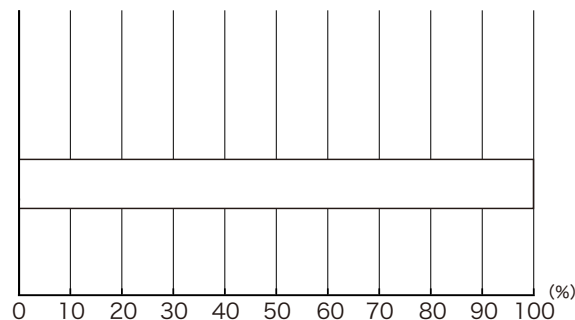
(2) 学校が事前に指導する必要があることは、どんなことですか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①安全に関する知識と注意事項	1	100%
②守秘義務に関する知識と注意事項	0	0%
③その他、必要と思われるもの	0	0%



(3) 学校と事前に打ち合わせておく必要があるものは、どんなことですか。(複数回答可)

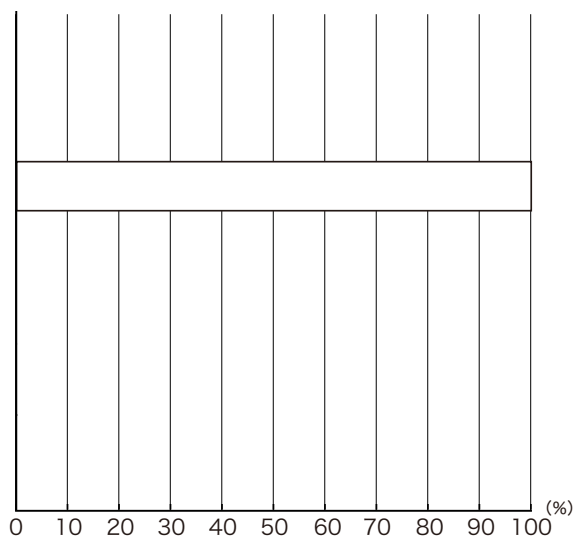
項目	人数	割合
①学生が怪我、病気になったときの対応方法	0	0%
②学生の学校での様子、個性など	1	100%
③その他、必要と思われるもの	0	0%



2 企業内実習を円滑に行うにあたっての学生の知識や障害について

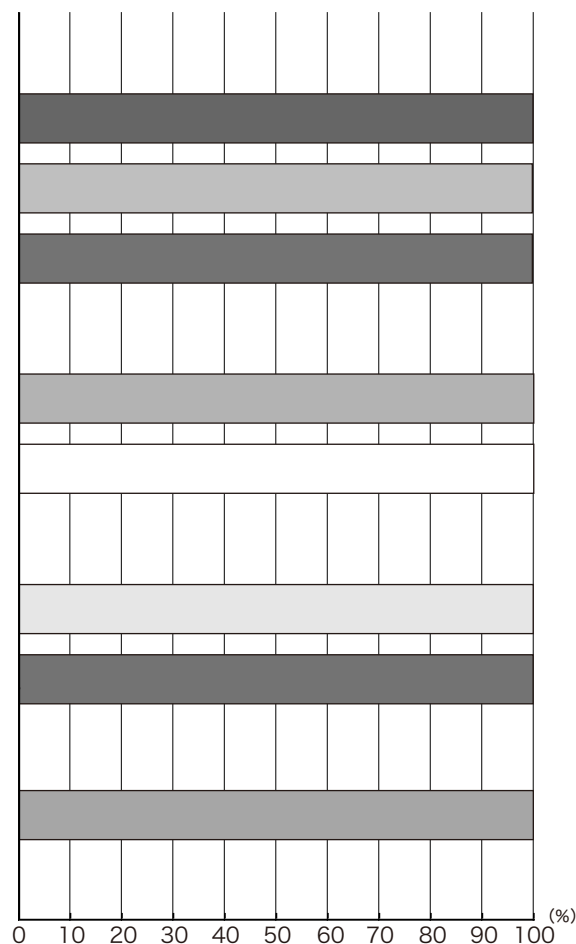
(1) 実習を行う学生は、どの程度の建設の知識が必要ですか。(1つ選択)

項目	人数	割合
①実習を行う内容について、学校で学んでおく必要がある。	0	0%
②実習を行う内容について、できれば学校で学んでおいたほうがよい。	1	100%
③基本的なことが理解できていれば、実習で行う内容を学校で学んでいなくてもよい。	0	0%
④実習で行うことと、学校で学ぶことは、直接、結びつかなくても、将来の全般的な資質・能力の向上につながればよい。	0	0%
⑤その他	0	0%



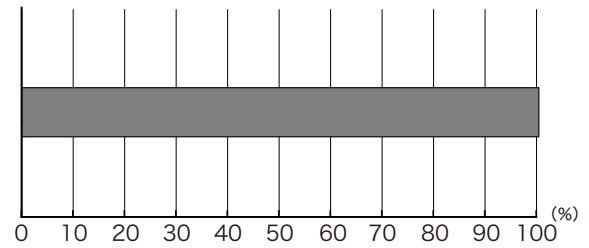
(2) 実習の障害となるのはどんなことだと思われますか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①設計に関する知識の不足	1	100%
②設計に必要な技能の不足	1	100%
③安全に対する知識の不足	1	100%
④守秘義務に関する意識の希薄さ	0	0%
⑤礼儀や挨拶等の基本的な社会生活上のマナーの欠如	1	100%
⑥ルールを守る規範意識の欠如	1	100%
⑦実習への活動意欲の低さ	0	0%
⑧積極的に学ぼうとする能動性の低さ	1	100%
⑨コミュニケーション能力の低さ	1	100%
⑩職場に馴染もうとする協調性の低さ	0	0%
⑪他者への思いやりの心の低さ	1	100%
⑫その他	0	0%



(3) 実習中に問題となることがありましたか。(1つ選択)

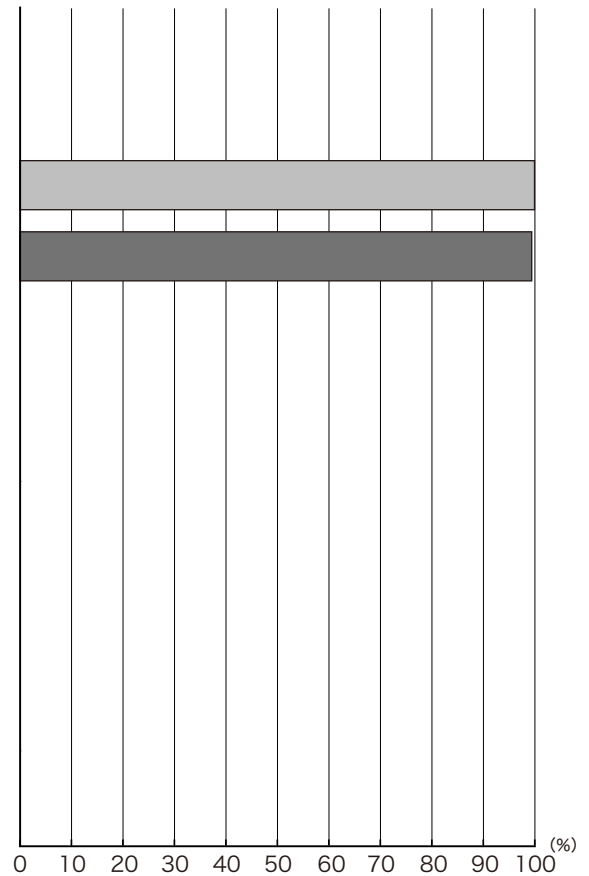
項目	人数	割合
①なかった。	1	100%
②あった。それは、どんなことですか。	0	0%



3 企業内実習の意義について

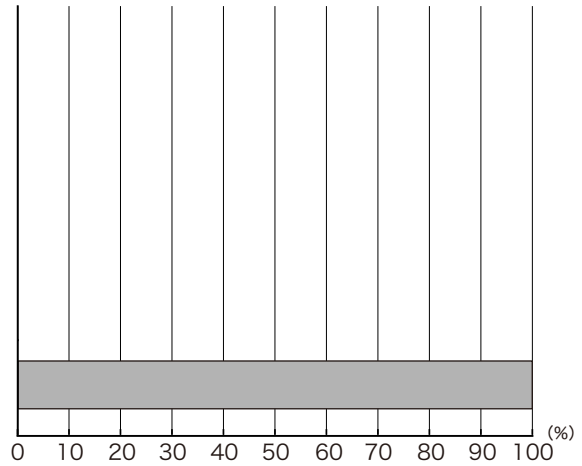
(1) 学生たちが、この実習で得た最も重要なものは何だと思われませんか。(2つ選択)

項目	人数	割合
①建設や職種に関する知識・技能	0	0%
②現場の仕事の大まかな流れ	1	100%
③現場の雰囲気	1	100%
④自分の技術力のなさを実感したこと	0	0%
⑤自分の志望と現実の職場とのギャップ	0	0%
⑥安全に関する知識や態度	0	0%
⑦社会生活上のマナーや規範意識	0	0%
⑧協力することの大切さや他人とのネットワークの必要性	0	0%
⑨働く人たちの仕事に対する考え方・姿勢	0	0%
⑩座学(授業)と社会(現場)の違い	0	0%
⑪その他	0	0%



(2) 実習受入企業にとって、どのような意義がありましたか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①少しは仕事の役に立った。	0	0%
②若い学生が実習に来たことにより、職場の雰囲気がいざやかになった。	0	0%
③若い職員に学生を指導させたため、その職員の勉強になった。	0	0%
④企業にとって、直接的なメリットはなかった。	0	0%
⑤その他	1	100%

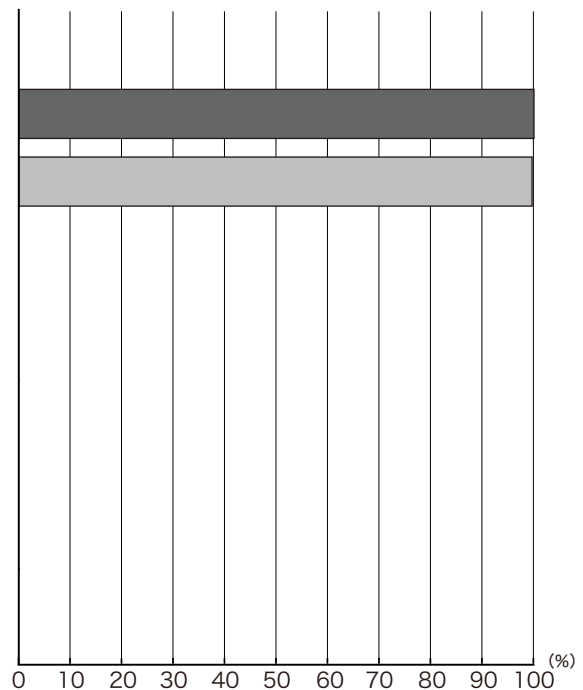


・弊社に就職してもらえたらと思い、受け入れた。。

4 企業内実習全体を振り返って

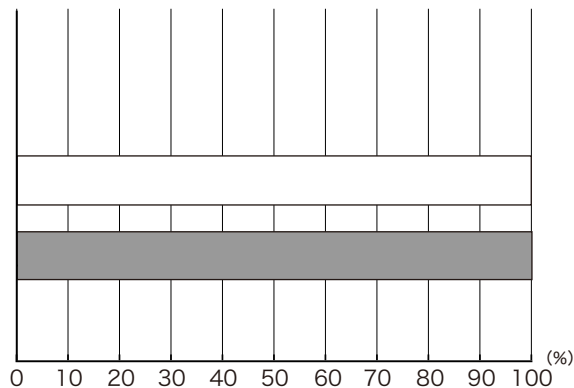
(1) 実習受入企業にとって、どんなことが大変だったですか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①学生に行わせるプログラム作りが大変だった。	1	100%
②仕事が忙しくて、学生を指導する職員がいなくて困った。	1	100%
③学生が消極的で一つ一つ指示しないと動かないので困った。	0	18%
④学生の安全面の配慮で、大変に気がつかった。	0	0%
⑤仕事が忙しく、毎日、日報に目を通すのが大変だった。	0	0%
⑥学生の評価を依頼されたが、ずっと観察していないので評価することが難しかった。	0	0%
⑦特に、大変なことはなかった。	0	0%
⑧その他	0	0%



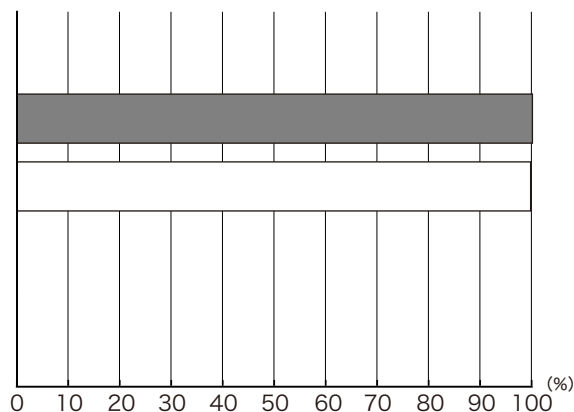
(2) 特に企業として、ご配慮いただいたことは、どんなことですか。(複数回答可)

項目	人数	割合
①設計事務所の仕事に興味を持たせるため、実習プログラムを工夫した。	0	0%
②現場の実際の様子を体験させるため、職員の一員として仕事に取り組みさせた。	1	100%
③職場に馴染ませるため、若い職員を指導係にした。	1	100%
④その他	0	0%



(3) どのような考えのもと、実習を受け入れていただいたか、お聞かせください。(複数回答可)

項目	人数	割合
①社会が求めている即戦力の育成に貢献するため、実習を受け入れた。	1	100%
②地元の建設業で働く人材を確保するため、実習を受け入れた。	1	100%
③学生に現場の実際を体験させ、早期退職等のミスマッチを防ぐことに尽力するため、実習を受け入れた。	0	0%
④その他	0	0%



アンケート結果(企業:施工)

- (1) 学校が事前の準備・打ち合わせ等の学校が事前に準備しておく必要があるものについての問いに対して、「学生の仕事や将来に関する考え方を書いた作文」を重視していた。
- (2) 学校が事前に指導する必要があることについての問いに対して、「安全に関する知識と注意事項」を重要視していた。
- (3) 学校と事前に打ち合わせしておく必要があるものについての問いに対して、「学生の学校での様子、個性など」を重要視していた。
- (4) 学生の知識や障害についての問いに対して、「実習を行う内容について、できれば学校で学んでおいたほうがよい。」を重要視していた。
- (5) 企業内実習の障害についての問いに対して、「建設に関する知識の不足」、「職種に必要な技能の不足」、「安全に対する知識の不足」、「礼儀や挨拶等の基本的な社会生活上のマナーの欠如」、「ルールを守る規範意識の欠如」、「積極的に学ぼうとする能動性の低さ」、「コミュニケーション能力の低さ」、「他者への思いやりの心の低さ」との回答であった。
- (6) 学生に習得してほしいものについての問いに対して、「現場の大まかな流れ」、「現場の雰囲気」との回答であった。
- (7) 受入企業にとっての意義の問いに対して、「その他:弊社に就職してもらえたらと思い、受け入れた。」との回答であった。
- (8) 大変なことについての問いに対して、「学生に行わせるプログラム作りが大変だった。」との回答であった。
- (9) 配慮したことについての問いに対して、「現場の実際の様子を体験させるため、職員の一員として仕事に取り組ませた。」、「職場に馴染ませるため、若い職員を指導係にした。」との回答であった。
- (10) 企業内実習を受け入れたことの問いに対して、「社会が求めている即戦力の育成に貢献するため、実習を受け入れた。」、「地元の建設業で働く人材を確保するため、実習を受け入れた。」との回答であった。

【まとめ】

施工の企業内実習を実施するには、特に安全面を重要視する傾向であることが結果から分かる。また、学生には、実習で必要な知識不足を補う上でも、実習内容を事前に学校で学んでから参加し現場の仕事の流れや雰囲気を体験してほしいと思うこともこの結果から分かる。

企業内実習を受け入れる企業は、自社に就職してもらいたいという企業単体としての考えはあるものの、即戦力の人材育成おための社会貢献や人材が他の地域に出て行かないよう地元地域の業界活性化のことを考えて企業内実習を受け入れていることが分かる結果となった。